きょうのセカンドオピニオン

線維筋痛症で薬が効かない＝答える人・霜田里絵院長

（銀座内科・神経内科クリニック、神経内科）

暮らし・学び・医療 医療・健康 朝刊くらし面

毎日新聞 2025/5/7 東京朝刊 有料記事 807文字

Q 線維筋痛症で薬が効かない

娘（33）が昨春に線維筋痛症と診断され、全身に強

い痛みがあり、毎晩発熱します。内服薬があまり効き

ません。他の治療法はありますか。（千葉県、60歳、

女性）

A 運動療法や心のケアも大切

線維筋痛症は体の広範囲に痛みが出る原因不明の病

霜田里絵院長

気です。慢性的な痛みが表れ、日によって痛む箇所も

変わることが多いです。強い痛みで日常的な動作や生

活の質が損なわれますが、筋肉などの組織が破壊され

ることはなく、命には関わりません。患者は全人口の1～2％おり、30～40代に発症することが

多く、女性に多い疾患です。痛みが広範囲にわたる▽痛みが3カ月以上続いている▽圧痛点での痛

みや、痛みと身体症状、神経・精神状態の組み合わせ――などが該当する場合、線維筋痛症と診

断されます。痛み以外には、倦怠（けんたい）感や頭痛、気分の落ち込みなどが挙げられます。

根治は現時点では難しい可能性が高いですが、内服薬で痛みは緩和できます。神経伝達物質に

働き痛みを止める薬に加え、効果が確認されている抗うつ剤などを用います。根気よく時間をか

けて治療に取り組むことで、日常生活を取り戻せた方も多いです。また、運動療法を取り入れ、

体を動かすのもお勧めです。

周りに理解されにくい疾患のため、信頼できる医師や、周囲の理解がある環境をつくるなど、

心身両面のケアが大切です。痛みだけにとらわれず、夢中になれる趣味などを持つと気分転換に

なり、治療への助けになります。相談者の娘さんは毎晩発熱するので、膠原（こうげん）病など

がないか、まず検査をしましょう。現在の薬以外の内服薬もあるので、他の薬剤を試すのもお勧

めです。【聞き手・井出礼子】